

第 7 2 回

大和郡山市

芸 術 祭

作 品 募 集

大和郡山市芸術祭開催要項

搬 入……………令和 7 年 1 0 月 4 日(土)・5 日(日)

4 日(土)・・・工芸：午前 1 0 時～午後 1 時

絵画：午後 1 時～午後 5 時

5 日(日)・・・写真：午前 1 0 時～午後 1 時

書道：午後 1 時～午後 5 時

三の丸会館・体育館（出品申込書及び通信用封筒を添付のこと）

※ただし、この日時に搬入できない場合は、両日の午前 1 0 時～午後 5 時まで

搬 出……………令和 7 年 1 1 月 3 日(月・祝)

午後 5 時 3 0 分～午後 6 時 3 0 分

令和 7 年 1 1 月 4 日(火)

午前 9 時～正午

公募作品……………絵 画・書 道・工 芸・写 真

展 示……………絵 画・書 道・工 芸・写 真・華 道

会 期……………令和 7 年 1 0 月 3 0 日(木)～1 1 月 3 日(月・祝)

公開時間……………午前 9 時～午後 5 時

会 場……………大 和 郡 山 市 立 体 育 館
(三 の 丸 会 館)

主催 大和郡山市芸術祭実行委員会

(事務局：三の丸会館 Tel 0 7 4 3 - 5 3 - 5 3 5 0)

●作品の規格

絵 画……………◇日本画・水墨画

8号以上50号以内とする（横位置可・スクエア可）

◇洋画（油彩・アクリル・水彩・版画・パステル・その他）

8号（水彩の場合四つ切り）以上50号以内とする（横位置可・スクエア可）。

◎以上の大きさは作品の大きさであり、額縁は含まないものとする。

作品は、額装またはそれに準ずる仕様（軸装等）で、**必ず吊り紐をつけて出品**のこと。

◎額縁については、一辺10cm以内とする。

◎作品の種類（油彩画、アクリル画、水彩画、パステル画、日本画、水墨画、版画等）を申込書に必ず記載すること。

書 道……………額装の仕上がり寸法、182cm×61cm以内で縦・横自由とする。

軸装に限り、縦200cm以内とする。帖・巻子は縦40cm×横400cm以内とする。

釈文は、全文及び氏名を規定の用紙（申込書に添付）に楷書で書き、封筒に入れ作品の裏に貼付すること。

工 芸……………平面作品は、2㎡以内とし、立体作品は、1㎡以内とする。

組物については、3点以内とする。

作品は、展示・移動に対し安定性があり、耐えられるものであること。必要に応じて、規定の用紙（申込書に添付）に使用材料の意図・用途・目的等を記入し提出すること。

作品の現地組立は出来ない。（展示可能な状態で搬入）

写 真……………作品は半切（A3ノビ含む）以上、外装仕上がり寸法横幅1.1m×縦幅2m以内とする。

組、連作は、1枚が四つ切り（A4含む）以上で、上記規格内の外装仕上がり寸法に結合すること。

作品は、**額装またはパネル張りの上、必ず吊り紐をつけて出品**のこと。

合成、加工された作品も可とする。

公序良俗に反しないものであること。

被写体が人物の場合は本人の承諾を得た作品に限る。

そ の 他……………◆前年度芸術祭賞を受けた者は、無鑑査とする。

◆不可抗力による作品の紛失、損傷に対しての責は負わない。

◆名前を変えて出品してはならない。

◆作品の搬入、搬出の期日、時間は厳守すること。

◆額・パネルには展示用の金具・紐等を装着のこと。

◆各部門とも額装の場合ガラス使用は不可、アクリルは可とする。

◆各部門とも規格外の作品は受け付けない。

◆原型制作者と実材制作者が異なるときは、原型制作者をその出品人とする。

◆応募作品に他人の著作物を利用する場合は、原作者の使用許諾を得ること。

その際には著作権者の意思を尊重し、著作権の保護に十分配慮すること。

無断使用の場合は入選を取り消すものとする。又、類形作品も同様とする。

●出品点数……………出品作品は、**同一部門につき1人1点とする**。また、各部門とも応募作品は、未発表のもので創意に基づくものに限る。

●出品申込……………1部門に1枚の出品申込書に、**審査結果通知用の封筒（自身の宛先を書き、110円切手を貼付したもの）を添えて**、搬入日に提出すること。

●審査及び陳 列……………一般作品は審査の上、入選作品のみ陳列する。

●賞 及 び 入 選 証……………公募作品の中より審査の上、優秀作品に賞（芸術祭賞・市長賞・議長賞・教育長賞・奨励賞）を贈呈する。入選者全員に入選証を交付する。

●表 彰 式……………令和7年11月2日（日）午後1時30分 会場：三の丸会館 3階小ホール

●講 評 会……………令和7年11月2日（日）午後2時00分 会場：各部門展示場

●審 査 員（50音順・敬称略）

絵画の部	今中	和義、岡川	孔、西谷	のり子
書道の部	喜多	芳邑、山本	肇一、山本	高邨
工芸の部	小川	二楽、西井	康元、西村	幸祐
写真の部	石津	武史、澤	戔三、椿本	九美夫